

No. 78

2009年(平成21年)

7月1日

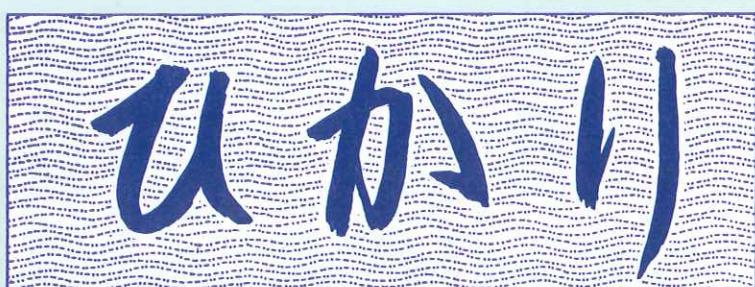
発行

浄土真宗本願寺派

和歌山教区日高組

責任者

鈴木悟峰



六字の薬はよい薬
懺愧歡喜の薬になるよ
親の御恩があればこそ
妙好人 浅原才市翁



光専寺本堂修復完成慶讃法要

阿彌陀經に聞く

『池中の蓮華』

「池のなかの蓮華は、大きさ車輪のごとし。青色には青光、黄色には黄光、赤色には赤光、白色には白光ありて、微妙香潔なり。舍利弗、極樂国土には、かくのごときの功德莊嚴を成就せり」

チューリップの歌を思い出してください。チューリップの歌の歌詞そのものです。

赤白黄色 どの花みても きれいだな♪ (詞 近藤宮子)

私たちは、チューリップの花を見て青色のがいいとか、値段が高いとか思います。そうではなくて「どの花みても きれいだな」とそれぞれの個を大切にするのが大事なのです。どの花も一生懸命に咲いています。小さな花も、大きな花も、安い花も、高い花も、みんな精一杯の命を咲かしているのです。私たちのいのちは、ほかに変わることができません。ほかに何十億の人いますが、私と同じ人は他に誰もいません。青い色は青く光り、黄色い色は黄く光り、赤い色は赤く光り、白い色は白く光る。世界の人が一人ずつそれぞれに輝いているのです。

成績だけの選別教育ではなく、人が生きるのは全人教育の中です。

次に、お淨土には鳥がいます。淨土に、畜生がいるのはおかしくないかと思うかもしれませんのが、おシャカ様は、「舍利弗、なんちこの鳥は実にこれ罪報の所生なりと謂ふことなけれ」と極楽に畜生はいない筈であるという疑問を事前に予告されています。極楽の鳥は、八功德水に満ちた宝池の底に光る摩尼珠の光明から流れ出た化鳥といわれています。

鳥については次回お話しします。

(永原)

現代人の死生観

キュウブラ・ロスは、「死の過程」で人間は死にゆく間に幾つかの心理的過程を経るに五段階があるといいます。

〈第一段階〉否認と隔離
予期しない衝撃的なニュースをきかされたとき、そのショックをまともに受けないために、まず否認がおこる。

〈第二段階〉怒り
死という現実を認めざるをえなくなると、次に怒りや恨みがこれに取って代わるようになる。「なぜ俺だけこんな目に遭わなくてはならないのだ!」この怒りが八つ当たりとなつて看護師に向けられ、そのためまわりの人間はよけいに患者を避けるようになる。

〈第三段階〉取引
人は神や仏に対し、自分がどうしたら延命できるか取引し始める。例えば「もう財産はいりませんから命だけを与えてください」と云々。

〈第四段階〉抑うつ
以上の段階をへて、それらが無駄であることを知つて患者はうつ状態におちいる。病気が進行し、衰弱が進んで、無力感が深刻となる。それともに、この世との別れを覚悟するためには絶対的な悲しみ

を経験しなければならない。

〈第五段階〉受容

患者は、来たるべき自分の終えんを静かに見詰めることのできる受容の段階に入る。「長い旅の前の最後の休息」のときが来たかのようである。このときの静かな境地をデカセクシスと呼ぶ。一般に死が近づくと、無意識に死を悟るものだといわれている。人は死を成長の機会とし、静かに尊厳なる死を迎えるための構えが必要である。

お淨土の仏壇は、生花を活け、お茶を飾らないのはご存じでしょうか。これは、花の美しさを愛でるとともに花が枯れていく姿を如実に見るために花盛りから夏になれば、お花を生けていためです。それに花盛りかかる花瓶の水が腐ってきます。お仏壇はお淨土をもっているといいますから、お淨土の水が腐っていてはいけません。『阿弥陀経』に、お淨土には八功德水という素晴らしい水があります。この水を花瓶に入れて花を愛で、仏さまに供える人がいますが、お淨土には喉が乾かないようにと思えるのです。お茶をあの世の人々が喉を渴かした餓鬼はいません。また、お茶は元来薬です。お淨土には八功德水があるのですから、薬はいりません。

(永原)

法悦ういづ

下の1~3の【】内にそれぞれ漢字1字を入れて食後のことばを完成させて下さい。

〔食後のことば〕

- 一、【1】いおめぐみにより
おいしくいただきました。
おかげでご【2】【3】さまでした。

77号の正解は、①深②恩③喜でした。正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

由 良 町 畑 中 靖 子 様	由 良 町 畑 中 啓 子 様
由 良 町 原 た か こ 様	御 坊 市 塩 田 廣 一 様
由 良 町 小 林 照 代 様	由 良 町 磐 田 公 子 様
由 良 町 坂 口 武 子 様	由 良 町 岩 崎 信 子 様
由 良 町 尾崎ゆり子 様	由 良 町 久 保 千 代 子 様

官製ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、所属寺、御感想、御意見等を明記の上、

〒649-1221高郡日高町志賀3851 善宗寺内 組長事務所

までお送りください。

※抽選で10名の方に粗品を差し上げます。

※締め切り日: 平成21年9月30日必着

※発表は次号

矯正業務功労・瑞宝単光章受章

善宗寺住職、鈴木悟峰氏はこの度、瑞宝単光章を受章されました。鈴木住職は、法務教官として三十五年間、非行ある少年の健全育成に職業訓練



や生活指導を通して、一日も早い更生を願い日夜指導に当たつてこられました。三十年間を振りかえり、「十四歳位から二十歳位の非行を犯した少年の中には、さまざま家庭環境下に育った子どもたちが多く、非行名も殺人から家出万引きと多種多様な犯罪があります。再犯を重ねるケースも多く、矯正教育の大変さを思い出します。現在は、社会情勢が厳しいが、犯罪の無い社会となれば」と語られていました。退職後は、善宗寺住職、日高組組長、教区組長会長として、「御同朋の社会をめざして」多忙な日々を送っています。

浄土真宗のおつとめといえ、『帰命無量寿如來』ではじまる『正信偈』が、身近な存在であります。正信偈は、宗祖・親鸞聖人の主著『教行信証』といふうわ書物の中の行巻の末尾にある七言百二十句の偈文です。後に、中興の祖・蓮如上人(八代宗主)が、正信偈と和讃に念佛を加えて、浄土真宗のおつとめと定められました。

「共に生きる」

から、派遣切りという言葉をよく耳にいたします。昨年暮れたします。今年の世界的な派遣社員の状況で、多くの派遣社員が職を失つておられます。派遣社員とは、正社員に比べて労働条件が悪く、雇用者側にどうぞ

では、使いやすい従業員だと思われます。日本の方もおれば、外国の方も多くおられ、遠くはブラジルからも来られているそうです。会社を退職させられホームレスとなり、公園などで生活せざるをえなくなつた方もあるそうです。

ある日、ブラジルから働きにきている、三世になる主婦のニユースがありました。三十六才になる方で、十二才の娘を筆頭に三人の子供がおられました。

派遣切りに遭い一月三十一日までに、会社の寮を出なくてはならない。母は仕事がなく、子供達が学校に行つた後、一人になると、将来のことが心配になる。悲しみに暮れる毎日。十二才の娘は「母が悲しんでいる姿を見ると私も悲しくなります」と話した。母親は、「ブラジルでは、日本人といわれ、日本では外国人といいわれるのがつらい」と悲しんだ。

月頃まで入れるように決
まつたそつです。しかし、仕
事は現在も無職だそうです。
「一切有情、世々生々の父母兄弟なり」という親
鸞聖人のお言葉がありま
す。どんな世の中になろうとも、私たちは、助け合
いゆずり合つて、ともに生き
る道を探していくべきと感
じるのです。

(上西)



光惠寺本堂修復完成慶讚法要

心より御礼申し上げます。

長年の願いでありました本堂修復は、昨年七月に無事完了致しました。過日、町内外の門信徒、また、有縁の方々のよろこびに満ち溢れる中、落慶法要が盛大に執り行われました。

三方を山に囲まれ西に海を臨む地に、大鵬が羽を休めた姿を四方から見れば、さらによろこびが高まつたのではと感じました。

法要当日は、天候が心配されましたが、予定通り行われ、大変華やかな行列となりました。庭儀宿を光専寺庫裏とし、ここから鎌鉢と樂の音の中、横浜区内を一巡させていただきました。

晴れ着に身を包んだ若い

うに身を包んだ若い男女が行う伝供は、次代を担う門信徒となってくれると期待しながら眺めさせていただきました。

の願いでありました。修理申上げます。

復は、昨年七月に無致しました。過日、の門信徒、また、有りませんでした。

山に囲まれ西に海地に、大鵬が羽を休を四方から見れば、ようこびが高まつた

三日は、天候が心配でしたが、予定通り行へ変革やかな行列としました。庭儀宿を光専どし、ここから鎌鉢音の中、横浜区内を歩いていただきました。

男女が行う伝供は、次代を担う門信徒となつてくれるど期待しながら眺めさせていただきました。

この修復を契機に、私たちは、さらに教化伝道に努めてまいりたいと思ひます。



即生寺

(日高町志賀)
第四代住職 藤本使朗

即生寺は日高郡内十二村に門徒を有する安養寺の門徒であります。

安養寺は大永三年(1523年)釋道西の開基で御坊市湯川町財部に在ります。

志賀(谷口)からは六KMの距離があり、聞法活動に参加することが難しく

地蔵堂(布教所)を建立

阿弥陀如来を安置して布教活動を実施する。この頃より寺社奉行所並びに本願寺に寺院建立の許可をお願いする。

明治十二年 一八七九年
本堂新築
内部莊嚴等一切完備
明治十五年 一八八二年
庫裡新築
明治二十六年 一八九三年
客殿新築
明治三十二年 一八九九年
梵鐘鑄造(第一次世界大戦で供出)
明治四十二年 一九〇九年
鐘樓堂新築

年間行事

- 1月 報恩講法要
- 3月 春季彼岸会法要
- 4月 永代経法要
- 7月 地蔵会・戦没者追悼法要
- 9月 秋季彼岸会法要

日高組寺院めぐり



阿弥陀仏

嘉永二年(1850年)には安養寺の隠居寺として四面の仮堂が建立されました。十一世住職了意と次男了教が分家して法務に従事する。

それから、十八年、門信徒の念厚く、地蔵堂に寺号認可の許可をお願いすることをいつき、幕末の寺社奉行所を動かし、明治元年(1868年)即生寺の寺号が認可され本願寺より阿弥陀如来様が下付され、安養寺の門徒を離れる。

日高組通言

☆行事報告

・日高組、「定期組会」

三月二十八日(土)、平成二十

年度定期組会を由良町大引、淨明

寺に於いて組内各寺院の住職・門

徒組会議員の参加により開催。平

成二十年度の事業並びに会計報

告、二十一年度の事業計画並びに

予算について審議しました。

今年度は、二十二年四月十八日

開催の特別事業「日高組親鸞聖人

七五〇回大遠忌法要(お待ち受け)

の開催が承認されました。

また、教区会議員の円明寺門徒、

内芝善明氏の辞職に伴い後任選挙

が行われ長覚寺門徒、小谷勝男氏

が当選されました。

・日高組総代会「総会・研修会」

明治四十二年、平成二十年度の事業計画並びに予算につい

て行いました。

・「日高組親鸞聖人七五〇回大遠

忌法要(お待ち受け法要)

来る二十三年から始まる「親鸞

聖人七五〇回大遠忌法要」を記念

した特別公演観劇「法然と親鸞」

が二月十四日に上演され日高組内

各寺院から二〇名が参加、お念佛のみ教えが私にとって大切なことを親鸞聖人のご苦労を通して感じを新たにあじあわせて頂いたこ

とでした。

・「日高組親鸞聖人七五〇回大遠

忌法要(お待ち受け法要)

昇る」というような信じ方は違

い、大地に支えられて立っている

うのでは不完全です。その安心感

とよろこびから立ち上がりにく

ことが大事なのです。それはまた、

人生が開かれ、心がときほぐされ

ことでもあります。

大谷光眞(門主)著作「世のなか安穏なれ」より

分にとっていちばん大切な人の名をよんでみて、思いめぐらせてください。阿弥陀仏とは光(智慧)と命(慈悲)に限りのない仏様と普通には見ることはできませんが、さまざまの縁によって感じとが信じができるようになります。創造主でもなく、この世の支配者でもなく、ただ煩惱をかかえてさまよう人間を真のさとりへと導くために働いてくださっています。

大谷光眞(門主)著作「世のなか安穏なれ」より

総会後「開かれたお寺をめざして」のテーマで懇談会を開催しました。

・日高組教婦人会連盟

「追悼法要・総会」

四月二十九日(水)由良町里、

蓮寺に於いて物故会員(物故者

三十三名)の追悼法要を勤修され

ました。その後、総会を開催、総会

では、二十一年度の事業並びに会計

報告、二十一年度の事業計画等が

審議されました。

平成二十一年四月十八日(日)

に、日高組における「親鸞聖人

七五〇回大遠忌法要」が勤修され

ます。この法要では、「稚児行列」

を行います。各寺院から稚児さん

を募集致します。参加費は五千円、

対象年齢は問いません。お孫さん、

お子様を稚児行列に参加させてみ

ませんか。ご希望のお方は各お寺

にご相談下さい。

なお、法要全体のことは次号

(十一月号)に記載します。

・日高組「子供の集い」(キッズ・

サンガ)

第三回、日高組「子供の集い」、

八月九日(日)日高町小浦、円行

寺において開催します。

各寺院から子供さんが、仏さまの元に集いゲームなどして楽しい時を過ごす催しです。夏休みの思いでの一日となることでしょう。

子供さんたちの参加をお待ちしています。詳しくは各寺のご住職にお尋ね下さい。

・「日高組親鸞聖人七五〇回大遠

忌法要(お待ち受け法要)

昇る」というような信じ方は違

い、大地に支えられて立っている

うのでは不完全です。その安心感

とよろこびから立ち上がりにく

ことが大事なのです。それはまた、

人生が開かれ、心がときほぐされ

ことでもあります。